

第4回大麻町未来づくり会議

令和8年8月3日（月）18時～
板東公民館

現在の進捗について

		令和7年度					令和8年度					令和9年度以降				
		4	7	10	1	3	4	7	10	1	3	4	7	10	1	3
意見集約	会議開催															
	地域との意見交換		 アンケート			 グランドデザイン案 地域ワークショップ										
実施段階	短期的取組 (概ね5年以内の実施)															
	中期的取組 (概ね10年以内の実施を目指す)															
	長期的取組 (概ね20年以内の実施を目指す)															

【会議の進行イメージ】

- 1 回目・・・現状や課題、会議進行イメージの共有と意見交換
- 2 回目・・・アンケートを踏まえた地域の意見の共有と意見交換
- 3 回目・・・グランドデザイン（骨子）の提示と意見交換
- 4 回目・・・地域説明会の意見をふまえたグランドデザイン（案）に関する意見交換
- 5 回目・・・グランドデザイン素案の最終調整

第4回大麻町未来づくり会議 アジェンダ

まちづくりワークショップの開催（報告）	 4
グランドデザインへの反映	 15
サブタイトル等の検討	 22
今後のスケジュール	 28

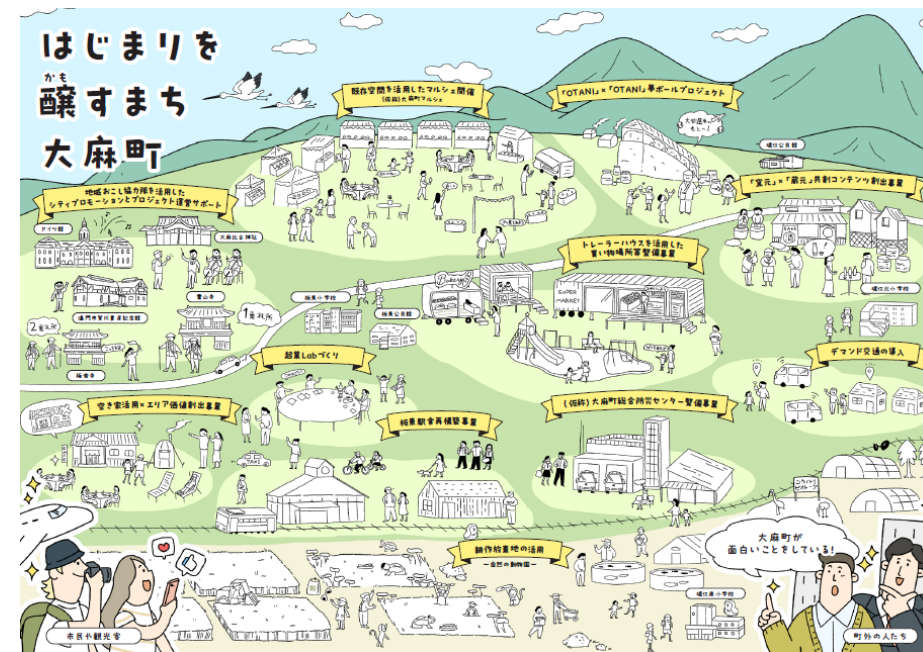
まちづくりワークショップ^oの開催（報告）

ワークショップの開催

令和8年6月28日（日）ドイツ館大ホールにて、
まちづくりワークショップを午前の部・午後の部の2回開催しました。

まちづくりワークショップでは、冒頭事務局より大麻町未来づくり会議の設置目的や住民アンケート結果の概要説明を行った後に、過去 3 回での各委員からの意見について説明し、グランドデザイン（素案）を提示しました。

ブランドデザイン説明後、テーマごとにワークショップを行いました。



ワークショップでのご意見

ワークショップで出てきたご意見は以下のとおりです。

観光振興（全般）

- ・ **大麻町の目的地化。**
- ・ **愛を核にした観光ブランディング（大麻は宇宙一の愛のパワースポット）の提案。**
 - ➡ 「愛」にまつわる観光資源例：賀川豊彦に関わる土地・ドイツ捕虜収容所・阿波神社・大麻比古神社・古墳・コウノトリ・「寂聴さんの鳴門山河」の跡地 等
- ・ **キャッチコピーを補足するためのサブタイトル等の追加。**
 - ➡ キャッチコピーの意味が難しいので、それに対応する分かりやすいサブタイトルを検討するべきでは。
- ・ **街歩き、散歩道等の設定とSNS発信。**
 - ➡ 観光地を選ぶ際に、若い県外客や外国人客は「SNSを見て来る傾向があるため、大麻町としてのアカウントづくりや映像発信が必要。

ワークショップでのご意見

ワークショップで出てきたご意見は以下のとおりです。

観光振興（自然）

- ・ **蛍、蓮根畑、梨の葉など自然景観を観光に活用。**
 - ➡ 「大谷川ホタル祭り」があまり知られていない。蓮根畑の景観や一面に広がる梨の葉の景色についても、十分に観光資源化されていない。
- ・ **蓮根畑などの自然資源を活用した体験型イベントの提供。**
 - ➡ 自然資源の活用に関連して、蓮根畑で子どもたちが泥遊びをするようなイベント。自然資源（蛍や蓮根など）を有効活用したコンテンツを作る。
- ・ **子どもが参加できる自然体験の提供。**
 - ➡ 板東谷川周辺で進む旧吉野川自然再生事業の活用。
- ・ **まちを「自然の動物園」に見立てたアプローチ。**
 - ➡ フクロウ、コウノトリ、カメ、猿、イノシシなど、身近な自然を観察すること自体が観光コンテンツになる。



ワークショップでのご意見

ワークショップで出てきたご意見は以下のとおりです。

観光振興（施設・文化）

- ・ **霊山寺等を訪れる来訪者に対し、通常の札所巡りとは異なる回遊導線を提示。**
 - ➡ 宝探しの地図のような案内図、「天国への蓮の道」「極楽の道」のような印象的な散歩コースの設定。
- ・ **インバウンド対応と外国人来訪者への対応や交流を推進。**
 - ➡ 外国人との交流機会創出、既存の巡礼動線に接続しながら大麻町内への滞在・回遊を推進する。
- ・ **板東駅舎の存続・再整備に関する要望。**
 - ➡ 板東駅は、一番札所、二番札所、大麻比古神社、ドイツ館、賀川豊彦など「人の集まる駅」であり、お正月や祭り、インバウンドの来訪もある特別な駅との認識。
- ・ **賀川豊彦氏に関する顕彰・周知。**
 - ➡ 地域内外で十分に認知されていない実態がある（地域の若者も「知らない」との意見あり）。地元の偉人を知ってもらうコンテンツを制作。

ワークショップでのご意見

ワークショップで出てきたご意見は以下のとおりです。

観光振興（その他・新規案件等）

- ・ **空き家活用（シェアキッチンや食資源の活用）の提案。**
 - ➡ 若い人が土地から購入して出店することは費用面で難いため、空き家活用は段階的・試行的な活用方法として有効では。
- ・ **若年層向けアニメコラボ等の提案。**
 - ➡ 寺院や八十八か所の資源と接続したアニメコラボの創設。特定の場所でアニメキャラクターと写真が撮れる企画の提案。
- ・ **散歩道を活用した健康と観光・地域資源との接続。**
 - ➡ 健康を意識した歩く観光、自然観察、散歩道づくり、犬の散歩道整備など。
- ・ **松江所長旧居の保存と観光資源化。**

ワークショップでのご意見

ワークショップで出てきたご意見は以下のとおりです。

産業振興（全般）

- ・ **地域における買い物の課題と懸念。**
 - ➡ スーパーマーケットやコンビニへの希望が高い一方で、車利用を前提として、北島や藍住方面へ買い物へ向かう実態がある。
- ・ **買い物支援の主対象の整理（交通弱者への支援）。**
 - ➡ 高齢者の日常的な買い物機会は、徒歩圏または代替交通で確保される必要がある。
- ・ **必要とされる品目は生鮮食品や日用品。**
- ・ **常設店舗への需要と、実証実験としての仮設導入案の提案。**
 - ➡ トレーラーハウス活用案が出たものの、常設性への期待も示された。初期投資や撤退リスクへの配慮から仮設導入の提案。
- ・ **小型店舗誘致の提案。**
 - ➡ 大規模スーパー誘致は難しいため、「現実的な案」では。
- ・ **価格設定等（立地等利便性と価格競争力の両立）への意見。**

ワークショップでのご意見

ワークショップで出てきたご意見は以下のとおりです。

産業振興（全般）

- ・ **ベーカリー誘致への期待。**
- ・ **ベーカリーと生鮮販売の複合店舗への期待。**
 - ➡ 「パン屋にして、その一角で野菜も売る」、「ハイブリッドパン屋」として、ベーカリーを来訪動機とし、生鮮を生活必需機能として併設する構想。
- ・ **「生存」のために必要なものと選ぶ「楽しさ」への意見。**
 - ➡ 生活基盤としての買い物と、選ぶ楽しさを感じるような買い物とでターゲット整理が必要。
- ・ **配送サービス・定期便の可能性と「手に取る」楽しさの両立への意見。**
 - ➡ 個別訪問販売は、売り上げの予想が立ちやすくなるが、個別配送への全面転換するのではなく、店舗での商品選択の機会の確保との両立が望ましい。
- ・ **小売店実証実験を行う場合のポイント。**
 - ➡ 仮設導入を行う場合、単に設置するのではなく、明確に検証項目を設ける必要がある。
- ・ **立地への意見（歴史・文化資源との接続面等）。**
 - ➡ 「車の客を取る場所」か「歩いて行ける場所」かで意見が大きく分かれた。幹線道路沿いへの出店は「駐車場のこと考えると適している」とされた一方で、住宅街から離れてしまう問題がある。

ワークショップでのご意見

ワークショップで出てきたご意見は以下のとおりです。

産業振興（全般）

- ・ **子ども・若年層を含めた多世代交流の必要性。**
 - ➡ 買い物拠点を単なる高齢者福祉機能で終わらず、多世代交流や地域滞在の場へ拡張する。
- ・ **担い手に地域に根差すことを期待。**
 - ➡ できる限り地元事業者または新規参入者が地域に根差して担うことが望ましい。
- ・ **惣菜・パン・子どもが行ける場への期待（地域内での惣菜店の不足）。**
- ・ **薬局型店舗への期待と追加の希望（鮮魚と惣菜）。**
 - ➡ コンビニでは代替しきれない惣菜需要、直近でオープンした店舗での鮮魚や惣菜の調達を期待
- ・ **地域消費による店舗存続への意見。**
 - ➡ 住民が地域内で購買しなければ店舗は維持できず、店舗がなくなればさらに不便になる。既存店舗が撤退しないよう地域住民側にも意識改革が必要。
- ・ **配食等の見守り機能を持つ事業者への支援。**
 - ➡ 独居高齢者向けの弁当配食は見守り機能を果たしているため、そうした付加要素への助成を期待。

ワークショップでのご意見

ワークショップで出てきたご意見は以下のとおりです。

生活利便性の確保

- ・ **高齢者の足としての機能への要望。**
 - ➡ 自宅からバス停までの距離、買い物帰りの荷物、雨天時の駅までの移動の苦勞、自転車にいつまで乗れるかという不安の解消。
- ・ **利用ニーズの少なさに対する意見（車社会における課題）。**
 - ➡ 車依存が前提となっている地域構造の中では、柔軟性の低い仕組みは浸透しにくいのでは。
- ・ **若年層を対象とするマッチングサービスの提案。**
 - ➡ 飲み会、買い物、病院など異なる目的の人同士が相乗りできる仕組みの構築。
- ・ **高校生の通学における自転車移動と鉄道接続の不便さへの意見。**
 - ➡ 池谷駅までは本数があるが、板東方面との接続が不便。雨天時や試験期間中などの変則的な状況も課題がある。
- ・ **コミュニティの希薄化による交通課題の深刻化への意見。**
 - ➡ 交通を単独の制度問題としてではなく、地域の実態把握と助け合いの問題として捉えるべき。

ワークショップでのご意見

ワークショップで出てきたご意見は以下のとおりです。

その他（子育て・公園・放課後環境に関して）

- ・ **地域内での公園不足への意見（小さな子どもが安心して遊べる場へのニーズ）。**
- ・ **既存公園に対する要望と管理の重要さへの意見。**
 - ➡ 既存公園は「薄暗くて怖い」との意見から、安全性と管理状態が重要。幼児期から低学年にかけての「公園デビュー」や、保護者同士・子ども同士の出会いの場が必要。
- ・ **放課後の子どもの居場所と多様な教育機会の充実。**
 - ➡ 放課後子ども教室がなくなったこと、中学校でのプール授業がないことの改善。
- ・ **安全意識の向上と子どもの活動内容の変化への意見（子ども会の解散等）**
 - ➡ 子どもの減少に加え、親が地域に子どもを預けなくなっている。
- ・ **集会所の活用可能性と老朽化への懸念。**
 - ➡ 放課後や地域交流への活用を期待。その一方で、集会所は避難所指定されているが老朽化が心配。

ワークショップでのご意見

ワークショップで出てきたご意見は以下のとおりです。

その他（子育て・公園・放課後環境に関して）

- ・ **防災を意識した地域コミュニティの構築。**
 - ➡ 災害時は人のつながりが重要。女性部を立ち上げ、横のつながりを広める動きがある。
- ・ **防災拠点設置への期待と懸念（収容人数等）。**
 - ➡ 子どもの居場所として期待。ただし、収容人数には限界があるのでは。
- ・ **地域課題の共有不足と地域住民の交流・連携への期待。**
 - ➡ 交通、買い物、子育ての各テーマはいずれも、個人や家庭ごとの困りごとに見えて、実際には地域全体の共通課題である可能性が高い。コミュニケーションの場づくりや機会を設けることが重要。

これまでの意見まとめ・グランドデザインへの反映

グランドデザイン要素	未来づくり会議意見	まちづくりワークショップ意見	グランドデザインへの反映案
テーマ (※ P12参照)		キャッチコピー補足のためのサブタイトル等の追加	サブテーマの作成 別途記載
トレーラーハウスを活用した 買い物場所等整備事業 (※ P19参照)	- 店舗誘致 - お年寄り向けの買い物支援 - カフェ誘致 「地域内購買」と「民間投資誘発」という持続性の追求	- 地域における買い物の課題と懸念 - 生鮮食品、総菜、パン取り扱い店舗への期待 - 小型店舗の誘致 - 惣菜・パン・子どもが行ける場 - 立地や価格帯への意見 等	文言追加 「はじまり」に ・地域に根差す多世代交流のはじまり を追加。

※ () は、グランドデザイン（素案）掲載ページを示しています。

これまでの意見まとめ・ランドデザインへの反映

ランドデザイン要素	未来づくり会議意見	まちづくりワークショップ意見	ランドデザインへの反映
デマンド交通の導入 (※ P23参照)	- 交通網の整備 - 買い物施設までの交通整備	- 高齢者の足としての機能への要望 - 若年層や通学する高校生を対象とするサービスの充実 - 自宅から目的地、あるいは主要な交通機関の乗降ポイントを繋ぐ移動手段の必要性	記載（反映）済み 
既存空間を活用したマルシェ開催 (仮称) 大麻町マルシェ (※ P24参照)	季節ごとのイベント開催	- 地産地消を軸にした「にぎわい創出」 - 地域住民交流の場づくり	記載（反映）済み 

※ () は、ランドデザイン（素案）掲載ページを示しています。

これまでの意見まとめ・ランドデザインへの反映

ランドデザイン要素	未来づくり会議意見	まちづくりワークショップ意見	ランドデザインへの反映
地域おこし協力隊を活用した シティプロモーションと プロジェクト運営サポート (※ P25参照)	- 地域の良さをアピールできる人材の確保 - メディア・SNS発信活動の実施 ⇒観光情報・レンコン等特産品・ 災害に強いまちなどをPR - 外国の方との交流・外国への発信 - インバウンドには日常の不便が実は喜ばれる可能性	- 大麻町の目的地化 - 街歩き、散歩道等の設定とSNS発信 等	文言修正 「町や住民の魅力を」 ↓ 「町の自然や歴史文化、住民の魅力を」
「窯元」×「蔵元」協創 コンテンツ創出事業 (※ P27参照)	- 今あるものの磨き上げ - 体験型コンテンツの造成（大谷蔵めぐり、酒フェスタ、コウノトリ保護活動）		イラスト修正 

※（ ）は、ランドデザイン（素案）掲載ページを示しています。

これまでの意見まとめ・ランドデザインへの反映

ランドデザイン要素	未来づくり会議意見	まちづくりワークショップ意見	ランドデザインへの反映
(仮称) 大麻町総合防災センター整備事業 (※ P28参照)	・ 幼児や子育てママの集まれる場所の確保 ・ 屋内施設で遊べる場所 ・ 防災センターを常設拠点として活用	・ 防災を意識した地域コミュニティの構築 ・ 地域課題の共有不足と地域住民の交流・連携への期待 ・ 防災拠点設置への期待と懸念 等	記載（反映）済み 
板東駅舎再構築事業 (※ P30参照)	・ 池谷駅含めた整備 ・ カフェの誘致 ・ 観光向け町内案内図の設置	・ 板東駅舎の存続・再整備に関する要望 ・ 高校生の通学における自転車移動と鉄道接続の不便さ	イラスト修正 

※ () は、ランドデザイン（素案）掲載ページを示しています。

これまでの意見まとめ・ランドデザインへの反映

ランドデザイン要素	未来づくり会議意見	まちづくりワークショップ意見	ランドデザインへの反映
耕作放棄地の活用 (※ P34参照)	休耕田を活用した陸上養殖	蓮根畑などの自然資源を活用した体験型イベントの提供	文言修正 「・ 農業・交流・実験的利用の開始」 ↓ 「・ 農業・交流・体験・実験的利用の開始」
空き家活用× エリア価値創出事業 (※ P36参照)	- 空き家・空き店舗の活用 - 歩いて巡る空間づくりと空き家活用 - DAOの活用	- 空き家活用（シェアキッチンや食資源の活用）の提案 - 歩いて巡る空間づくりと空き家活用	記載（反映）済み  空き家活用×エリア価値創出事業

※（ ）は、ランドデザイン（素案）掲載ページを示しています。

これまでの意見まとめ・グランドデザインへの反映

グランドデザイン要素	未来づくり会議意見	まちづくりワークショップ意見	グランドデザインへの反映
全般	今あるものの磨き上げ	- 歴史文化資源の活用 - 賀川豊彦に関する顕彰・周知 - 松江所長旧居の保存と観光資源化	追加 『短期プロジェクト』とその『概要』に 「大麻町歴史研究」プロジェクトを追加掲載

※（ ）は、グランドデザイン（素案）掲載ページを示しています。

その他 素案掲載事項以外のワークショップでのご意見

- ◆ 地域内での公園不足への意見
- ◆ 担い手に地域に根差すことを期待。
- ◆ 霊山寺等を訪れる来訪者に対し、通常の札所巡りとは異なる回遊導線を提示
- ◆ インバウンド対応と外国人来訪者への対応や交流を推進
- ◆ 若年層向けアニメコラボ等の提案
- ◆ 地域消費による店舗存続
- ◆ 子どもが参加できる自然体験の提供
- ◆ まちを「自然の動物園」に見立てたアプローチ
- ◆ コミュニティの希薄化による交通課題の深刻化
- ◆ 放課後の子どもの居場所と多様な教育機会の充実
- ◆ 安全意識の向上と子どもの活動内容の変化



目指す将来像（案）

はじまりを醸す 大麻町

～ 受け継ぎ 育て 巡らせる ～

大麻町は、鳴門市の中でも、歴史・文化を受け継ぎながら、福祉や防災など、人の暮らしを支える機能が集積する地域であり、本構想では、そうした特性を活かしながら、地域内外の人が関わり、挑戦が生まれ、新たな価値を生み出すまちづくりを進めていく

「はじまりを醸す 大麻町」 背景

大麻町は、四国遍路の第一番札所である霊山寺を有し、人々の旅の「はじまり」となる町である。

また、第一次世界大戦中に板東俘虜収容所において、ベートーヴェン「第九」がアジアで初めて演奏された地として、文化交流と共生の「はじまり」を刻んできた。さらに、酒造や醤油づくり、大谷焼に代表される陶芸文化など、発酵や手仕事を通じて、時間をかけて価値を育てる、「醸す」営みが根付いてきた。

「はじまり」とは、人が関わり始めること、挑戦の一步を踏み出すこと、地域の関係が静かに動き出すこと、を意味しており、

「醸す」とは、時間をかけて価値や担い手が育っていくことを意味している。

さらに、大麻町には多くの福祉施設が立地し、地域全体で高齢者や障がい者などを支える「福祉の町」としての側面を有している。

加えて、古くから存在する寺社が過去の地震にも耐えて現存しており、「災害に強い町」でもある。人を支え守る地域の基盤が

「はじまり」と「醸す」を支える土台としてあることも、大麻町の大きな特徴である。

そして、「はじまりを醸す 大麻町」とは、一過性の賑わいや消費を目的とするのではなく、人々が関わり、挑戦し、次の一步を

踏み出す“はじまり”が、時間をかけて「醸され」、未来へとつながっていく町の姿を示す言葉である。

このコンセプトのもと、「生活利便性の確保」、「産業振興」、「地域コミュニティの活性化」、「観光振興」を横断的に繋ぎながら、

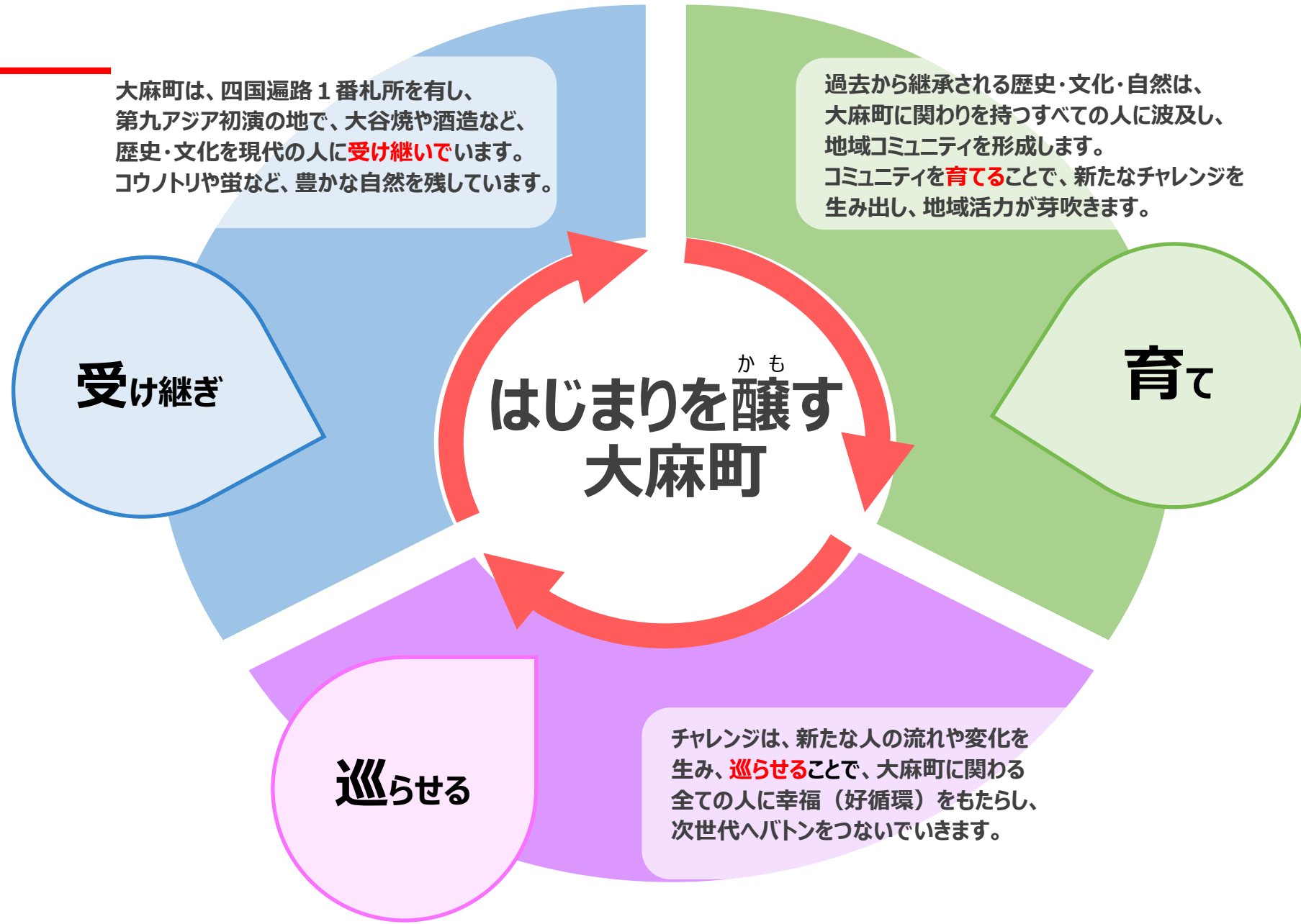
新たな人の流れや地域内の経済循環、担い手の創出などの好循環が生まれる「醸成の場」として、

20年後においても幸福度の高い地域の実現を目指していく。

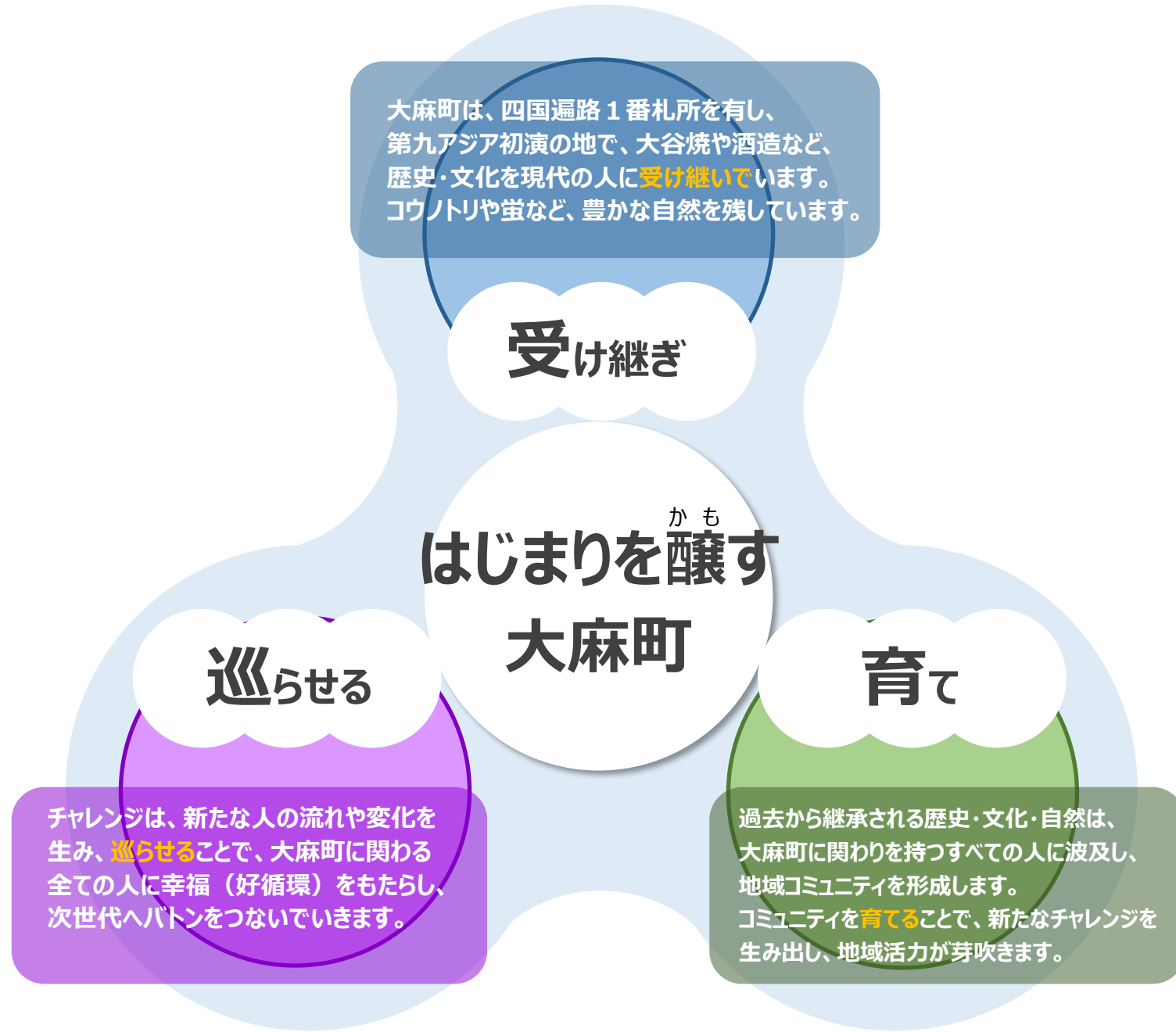
・はじまり⇒人がくる、関わりはじめる、挑戦が生まれる

・「醸す」⇒新たな価値を生み出す。地域におきる変化

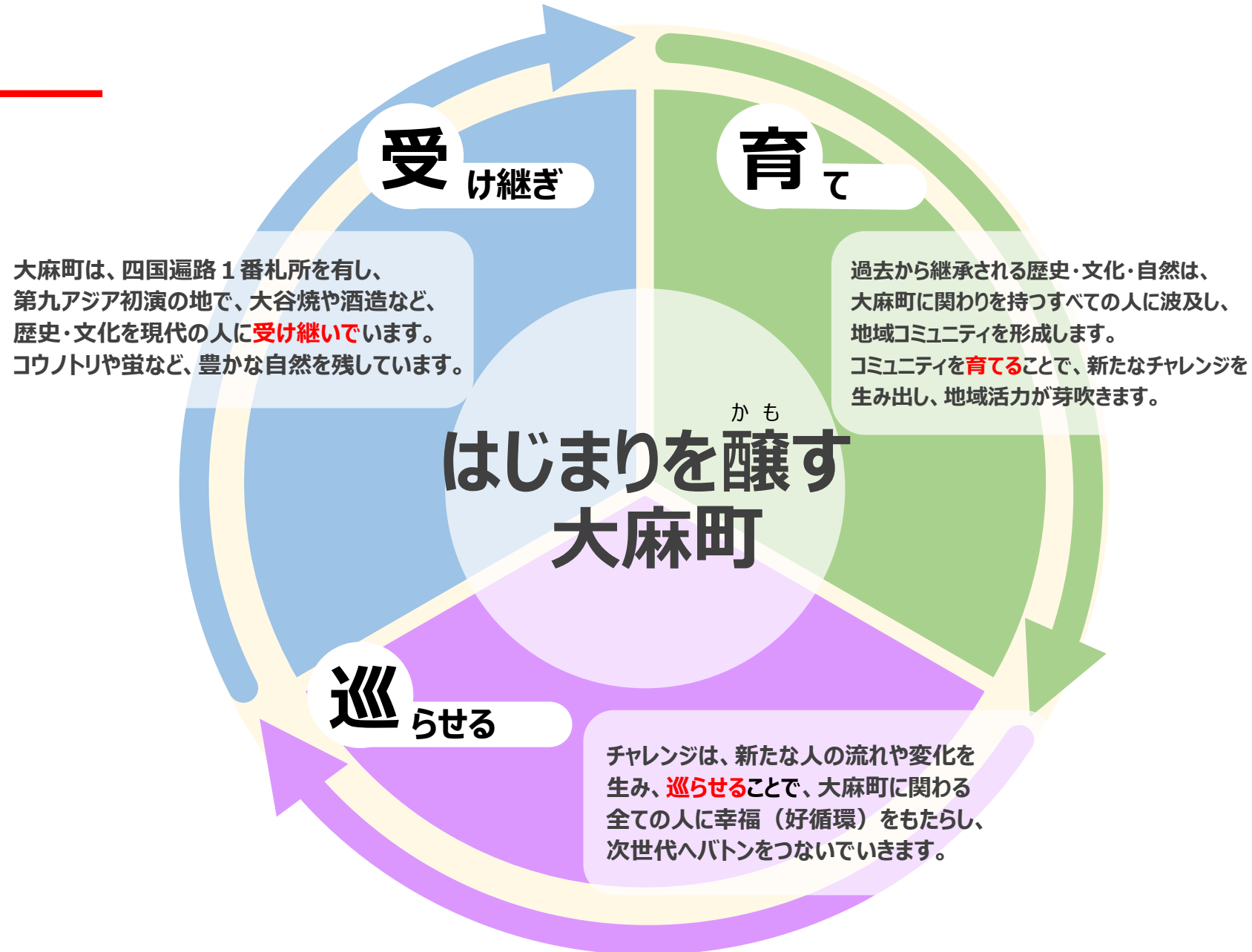
イメージ図



イメージ図



イメージ図



イメージ図



今後のスケジュールについて

8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
▼ 8/3 第4回大麻町未来づくり会議									
	市議会 グランドデザイン素案提示・パブリックコメント開始に関する報告								
		パブリックコメント実施期間（2週間、募集30日）							
			パブリックコメント結果・集計						
					第5回大麻町未来づくり会議（素案の確定）				
							市議会 グランドデザイン最終案の報告 令和9年度実施事業予算要求		
							グランドデザイン策定	地域説明会 広報掲載	